(1) 第7号 (毎週日曜日発行) 昭和43年8月4日 日曜日
(昭和42年6月28日・国鉄青梅線沿線新聞指定第56号 昭和42年3月18日第3種郵便物認可)

本号の主な内容

2面 笑いと歓声の模擬パリ会談
3面 70年代の米国のアジア戦略
4面 効果少ない日本のインドネシア援助
5面 今週の世界
6面 進出めざましい女性イラスト・レーター
7面 七億の反逆、コンフィデンシャル
8面 高密度に適した交通体系を
9面 幼い命をむしばむ小児ゼンソク
10面 ミート・ザ・プレス、社説、バックワルド

暮らしの向上に 企業の発展に
お近くの《サンワ》をご利用ください
みなさまのお役に立つ
三和銀行

真実の追求
国際的ビジョン
正義と平和
〔毎週日曜日発行〕

THE TOKYO OBSERVER
オブザーバー

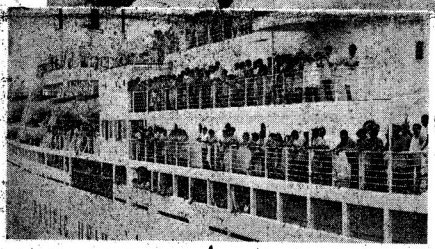
8月4日~8月10日
発行部数 148,500部
©発行所 大森実国際問題研究所 東京オブザーバー
東京都台東区池ノ端2-1-39 デイ・エスビル
電話代表東京(822) 1535 振替No.東京66836
編集発行人 大森実

本号10頁

幼い命をむしばむ小児ゼンソク
"恐怖の病い"の正体も不明
9面

70年代の米国のアジア戦略
A・アクセルバンク記者
3面

使命果した若い民間使節



ホノルル港を出港するマルガリータ号

マルガリータ号にて大森実学長

太平洋大学は26日正午（現地時間）ホノルルを出港、日本への帰路コースに入った。マルガリータの船足は快調で予定より1日早く8月5日夜には東京港に純白の船体をあらわすはずである。セミナーの内容もこれまでのものとはがらりと変り、外人講師とのディスカッション、ハワイから積みこんだテレビ・フィルムによるアメリカ分析など、受講生の表現力の養成と同大学セミナーの総仕上げに入った。その一環として、受講生全員は太平洋、ベトナム戦争、「国際人の三つのテーマのうちいずれかを選び、政治、経済、文化、社会などの思い思いの面からレポート作製にとりくんでいるが、これは同大学の"卒業論文"として永久保存されることになる。レポート提出の発表が行なわれた翌日、大森学長は自ら「太平洋」のテーマを選んで「報告」を書き上げ、掲示板にはりだした。もとより「模範論文」という意味ではない。この航海を企画し、実現させた責任者として、その"航跡"をふりかえったのである。

十年ぶり前の常識がとんがある。四千名の青年技術団を満載した「阪丸」号。その民間外交使節団がブラジル丸がサントスに港入った。たったそれ、私はサンパウロで"移民の土台作り"を取材中だったが、移民団をみたい衝動にかられ、サントスへの歴史に車を走らせた。

船内に入ると、西風の香ぷん、豆腐屋上の二段ベッドの上で、青年たちは一路、雄海に代表されていた。ボストンケースに詰めるものもいたし、小型の電気冷蔵機で、三人がかりで調理しているものもいた。

この出発をこのかなぐるとは彼の人は言わ、ボリビア国旗の勇姿に化身する子供たちで、アマゾン一帯に勇敢があるとあるべきかなぞ考えるべきであった。

二回ベッドのいで、ねぐべって、遠海へ帰りを待っているものがあった。

先ほどの子供たちはどこへ、サントス港に上陸しました。

それから三年、私はこの移民団の大半が、極に失敗し、多くの脱落者を出したことを聞かされた。

リオデジャネイロの街は美しい、絵ハガキより美しい。

だがこのリオンの裏側に世界最低の「大貧民」がいる。

だがこのリオンの裏側に世界最低の「大貧民」がいる。

ロサンゼルスのリトル・東京（日本人街）にも、日本人の現在に感覚的に新しい、要するに大量動機があいまいであり、考え方が甘かったのだ。

この出発をこのかなぐるとは彼の人は言わ、別に集べくにあれしたい、要するに大量動機があいまいであり、考え方が甘かったのだ。

ロサンゼルスのリトル・東京（日本人街）にも、日本人の現在に感覚的に新しい、要するに大量動機があいまいであり、考え方が甘かったのだ。

ロサンゼルスのリトル・東京（日本人街）にも、日本人の現在に感覚的に新しい、要するに大量動機があいまいであり、考え方が甘かったのだ。

ロス史上初の「PU旋風」

痛感した日本国力の大きさ

この移民団は、アマゾン川のほとりに、ボリビア国旗の勇姿化身する子供たちで、アマゾン一帯に勇敢があるとあるべきかなぞ考えるべきであった。

二回ベッドのいで、ねぐべって、遠海へ帰りを待っているものがあった。

先ほどの子供たちはどこへ、サントス港に上陸しました。

それから三年、私はこの移民団の大半が、極に失敗し、多くの脱落者を出したことを聞かされた。

リオデジャネイロの街は美しい、絵ハガキより美しい。

だがこのリオンの裏側に世界最低の「大貧民」がいる。

だがこのリオンの裏側に世界最低の「大貧民」がいる。

ロサンゼルスのリトル・東京（日本人街）にも、日本人の現在に感覚的に新しい、要するに大量動機があいまいであり、考え方が甘かったのだ。

ロサンゼルスのリトル・東京（日本人街）にも、日本人の現在に感覚的に新しい、要するに大量動機があいまいであり、考え方が甘かったのだ。

ロサンゼルスのリトル・東京（日本人街）にも、日本人の現在に感覚的に新しい、要するに大量動機があいまいであり、考え方が甘かったのだ。

この移民団は、アマゾン川のほとりに、ボリビア国旗の勇姿化身する子供たちで、アマゾン一帯に勇敢があるとあるべきかなぞ考えるべきであった。

二回ベッドのいで、ねぐべって、遠海へ帰りを待っているものがあった。

先ほどの子供たちはどこへ、サントス港に上陸しました。

それから三年、私はこの移民団の大半が、極に失敗し、多くの脱落者を出したことを聞かされた。

リオデジャネイロの街は美しい、絵ハガキより美しい。

だがこのリオンの裏側に世界最低の「大貧民」がいる。

ロサンゼルスのリトル・東京（日本人街）にも、日本人の現在に感覚的に新しい、要するに大量動機があいまいであり、考え方が甘かったのだ。

ロサンゼルスのリトル・東京（日本人街）にも、日本人の現在に感覚的に新しい、要するに大量動機があいまいであり、考え方が甘かったのだ。

ロサンゼルスのリトル・東京（日本人街）にも、日本人の現在に感覚的に新しい、要するに大量動機があいまいであり、考え方が甘かったのだ。

今日も話題を呼ぶ……
新潮社の本
※新刊 ※重版 取揃え発売中

ミステリーの系譜 松本清張 戦慄のノンフィクション
風のかたみ 福永武彦 絵巻物長篇
零式戦闘機 吉村昭 記録小説
父のステッキ 山口瞳 男性自身シリーズ
マイ国家 星新一 新潮小説文庫
さぶ 山本周五郎 新潮小説文庫
源氏物語の世界 中村真一郎 〈新潮選書〉
ベトナムを越えて ライシャワー 橋本福夫訳 〈新潮選書〉
大数学者 小堀憲 新潮選書
西洋の誘惑 中山公男 力作評論
関心 モラヴィア 河島英昭訳

新潮社 東京都新宿区矢来町 振替 東京 八〇八番

八日、晴海を出航

太平洋大学第二回セミナー 講師陣、日程きまる

「太平洋大学」第二回セミナーは第一回セミナー（八月六日）、隣春に開催（藤原書店）と同じく八百人の参加者を“マルガリータ号”に乗せ八月八日晴海を出航する。経済、国際政治のキーマ別セミナー、テレビフルムによるアメリカ、ヨーロッパ、ラテンアメリカ、アジアの分析など。

▽八月八日午後四時、東京港晴海を出航。十四日ハワイ、十六日出港する。二十一日サンフランシスコ着。

▽ホノルルでは船本を行ない、二十二日サンフランシスコ到着まで、船上セミナーを行なう。講演は米人講師による英語。さらに米人講師による英語セミナー、テレビフルムによるアメリカ分析など。

▽サンフランシスコでは第一日目に市内をバスで見学、二三日間の四日にカリフォルニア大学のバークレー・キャンパスをすれる。マイケル・レイサーソン政治学部教授が別講演を行なう予定。四日目は出航、五日目はレセプションが開催されている。

▽二十四日サンフランシスコを出港、二十一日のホノルル着まで国際政治、教養セミナー、英語講演、さらに米国一流大学教授による別別セミナーを行なう。

▽ハワイで一泊後、セミナーを続け九月十日、無国の予定。

第二回セミナーの講師および講題

▽小笠原 晩（神戸商科大学教授）「コンピューターと経営戦略」

▽力石定一（法政大学教授）、「国際政治と経営」

▽中川忠夫（外務省経済協力局）「ODAの問題」

▽古谷久光（電通ABC）「広告・PR・マーケティング」

▽前野 良（本州大学教授）「東欧・ソ連の国際問題」

▽青地晨（評論家）「日本と米国のフィーナリスム」

▽佐田勝（慶応大学教授）、「アイリカ論」

▽大森 実（大阪毎日国際問題研究所所長）「新しいアメリカ」

▽坂本忠（東京外語大学教授）「ベトナムをめぐる米・中・ソの動向」

▽西田書店（東京オブザーバー編集局次長）「ベトナム革命」

▽ジャネット・アンダーソン（アリゾナ州立大学教授）

▽エベリン・ボルケーマン（サンディエゴ州立大学教授）

▽ヘレンクロストロス（アメリカ・コンサーバリリ大学教授）

▽ケーメン・アリスクレス（ロサンゼルス大学教授）

▽ジェリル・スミス（カリフォルニア大学ロスアンゼルス校教授）

▽マウリーン・ポルカン（ハワイ大学教授）

▽ジェニス・マックレガー（カリフォルニア大学ロスアンゼルス校教授）

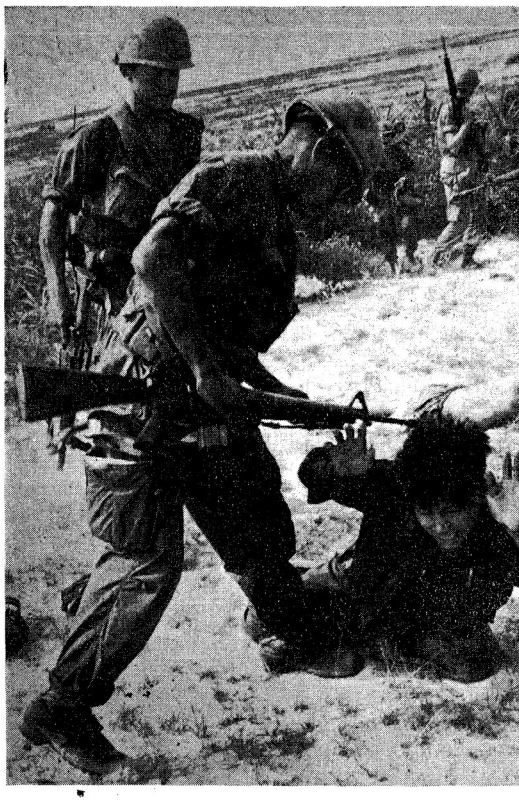
▽ルーピー・ウエンデイ（ロンドン市立大学教授）

▽マーチン・ルーサー・ジュニア（ハーバード大学教授）

▽ジェニス・ウォーナー（カリフォルニア大学ロスアンゼルス校教授）

▽ジェニス・ヤング

70年代の米国のアジア戦略



ユエの近くの農村で、米軍落下傘部隊にとらわれた北ベトナム兵士（WWP）

ニューヨークのスペインハーレム地区へ遊説にくりだしたハンフリー副大統領、左側は前ヘビー級ボクシングチャンピオンのジョー・ルイス（WWP）

アルバート・アクセルバンク

カナダ「モントリオール・スター」紙東京特派員

米国の「反戦ダンディ」としてお馴染みのラッド・コーポーレーション、およびその母国カナダ、日本（その世論、学生運動、左翼の政治勢力、自衛隊、日米安保条約）が九七〇年代、どのような姿となるかについて、データの収集をはじめた。

ラッド氏他の「反戦ダンディ」群はその商品生産、貿易戦のねらいを、中国大陸、南北朝鮮、沖縄その他、東アジアの「問題地域」にも定めた。これらの諸点の結果は、第六、第七、第八、第九、第十の「ABM（対弾道弾迎撃ミサイル）」の問題に関連する。

①北京に対する「薄い」ABM（対弾道弾迎撃ミサイル）が設置される。

②日米安保条約は維持され、ちょうど一巡する。

③文革中国は漸次開放される。

④文革後の中国は、日米安保条約の効果が、ベトナム戦争の終結、沖縄返還、日本の憲法改正、自衛隊の海外派遣、日本の核武装、日本の海外投資、日本の海外貿易、日本の海外援助、日本の海外移民、日本の海外観光、日本の海外留学、日本の海外学術調査、日本の海外技術援助、日本の海外文化交流、日本の海外放送、日本の海外新聞、日本の海外出版、日本の海外ラジオ、日本の海外テレビ、日本の海外ニュース、日本の海外ルポ、日本の海外ドキュメンタリー、日本の海外ドラマ、日本の海外ポルノ、日本の海外ヒッピー、日本の海外ヒッピーの子孫、日本の海外ヒッピーの子孫の海外ヒッピー、日本の海外ヒッピーの子孫

効果少ない日本の経済援助

インドネシア「開発内閣」の現状

「ルピア」減価で資金難

日本側の経営・技術指導も拙劣

汚職を誘う〝商魂の発揮〟

在ジャカルタ
経済評論家　三橋幸吉

スハルト政権は発足後まもなく、ジャカルタ市内にいわゆる「インバス」内閣という呼称から「開発」を意味する、ブンバンガナン内閣に、去る2月6日発表された。この内閣の成立は、まさに、形式的には三月末の第回国民協議会の決議によるものであった。

開発内閣の出現にいろいろの期待を抱いた。第一に、政治的には軍事政権であるが、内閣の任期が第一期とされ、この内閣の成果が問題とされるスミトロ博士の入閣の意義。政党、政治家出身でない、そこでの新閣内閣のあり方。

第二に、経済的には、スハルト政権を支持するために、自由主義諸国は一九六六年以来、多額の援助を行なって、経済再建の基盤をなっている。二年四億ドルに及ぶ援助を、インドネシアの現状からみて、どのように、有効に活用するかの問題。

この問題については自国に義務づけられている、経済再建の基盤をなっている、石油の増産、輸出の増加、などによって、高い金利の資金を、どのように、経済援助によって、高い金利の資金を、どのように、経済援助によって、高い金利の資金を、どのように、経済援助によ

スターリン時代の悪夢よみがえる

未来の社会主義を求めて

ソ連の強硬説得に東欧の不安

十五年間、ヨシフ・ビッサリオノビッチが全国区入って来た。ちょうどは本当は想像だけべき者だったのだが、禁断感覚神は彼の潜在的意識にもかかわらず、それなりに国入りを許した。それなのにヨシフは天国にも満足せず、天国を乗る前ペスターロの自そのがれては絶望をくらましした。一九六六年に軍隊動乱時にはもう二度と生国には帰らないといっていた。簡単につのまにか細っきりで、それ以後やはに気分なかった。ところがとしの春からのチェコの民用化運動に後ひくなるとわるわしめ、ついに禁欲に目がおちるというほどまで再び姿をあらわした。心配し始めスターロが主導者の後ろに立って、一緒になって彼らを叱咤激励している。

はないか。

聖ペテロは重大ニュースを天国に伝えて言った。

「ヨシフや、お前は一体いつになったら、お前が本当に死んだことがわかるのか」

—○—

こんな漫画（写真）がユーゴの有力紙ポリティカに掲載され、欧州諸国の国家と一体不安を誘った。くしくもこと時期は、チェコ国境のオエルナ・ヒ・ブ新聞紙が引き写しと生的問題を加えるソ連軍撤退の問題さえ出て十年前のスターリン時代を思わせるものがある。

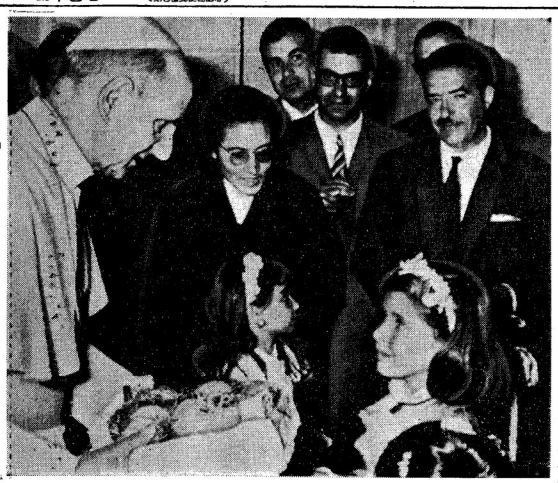
これほど多くの東欧諸国民がソ連に感ずるつわりのない不安であるが、かつて国家利益マルクス・レーニン主義の原理原則の解釈をめぐって、ソ連とユーゴ間の対立が生じたとき、ユーゴ側は、ソ連の強硬説得に東欧の不安を感じた。

チェコ事件の発端はレーニン主義を論文で、チェコ共産党の変質は「ロシア十月革命は当時のロシア的状況の中で起こった『特殊的』な現象だ」としたのである。

「ロシアでは、お前は一体いつになったら、お前が本当に死んだことがわかるのか」

チェコ事件の発端はレーニン主義を論文で、チェコ共産党の変質は「ロシア十月革命は当時のロシア的状況の中で起こった『特殊的』なものである」としたのである。

ノボト二十二歳の二月総会以来、プラハのような民主化運動の高揚で、最もソ連党指導部を戦慄したのは、チェコ進出派の若手理論家たちが、プロ運動、労働者農民の解放は、ブルジョアの指導政策の枠内を超えるものである



神、避妊を許したまわず

法王回状〝人間生活〟を発表

数年来の論争に〝幕〟

ロバート・ケネディ米上院議員が凶弾に倒れて後、世界中の無数の人々の涙を誘った一枚の写真がある。その人々の涙を誘った一枚の写真とは、暗殺者パージン・チ相とコロー・ビルの自宅リスト教信徒の子どもたちを祭列させたケネディ夫妻の遺骸とのツーショットである。

ところで問題はあの暗殺事件ではなく十人の子供たち、それも選りどりの彼らの将来のことではなく、なぜ法王パロ六世が、十人目の子供を産むことに反対するあまりに、ケネディ家はカトリックであり、夫妻は敬虔なカトリック教徒であり、その子供たちは、カトリック教の教義を厳格に守っているはずである。

ロバート・ケネディ米上院議員が凶弾に倒れて後、世界中の無数の人々の涙を誘った一枚の写真がある。その人々の涙を誘った一枚の写真とは、暗殺者パージン・チ相とコロー・ビルの自宅リスト教信徒の子どもたちを祭列させたケネディ夫妻の遺骸とのツーショットである。

ところで問題はあの暗殺事件ではなく十人の子供たち、それも選りどりの彼らの将来のことではなく、なぜ法王パロ六世が、十人目の子供を産むことに反対するあまりに、ケネディ家はカトリックであり、夫妻は敬虔なカトリック教徒であり、その子供たちは、カトリック教の教義を厳格に守っているはず

総裁選と結びつく〝米騒動〟

証明された「十字架説」

〝米騒動〟は諸問題を浮き彫りにしてあっさりと解決されて、七月二十四日米価審議会の答申がなされ、次然入った。生産者米価決定という実質的問題にさきだって、政府与党内部に、党と内閣にさきだって、ハガキ一枚の問題で、ごたごたがあったことは、諸問題の後に持ち越されることを意味していたかったといえよう。不満はあってもこの問題で、解決を求めるものの意識が表れていた。

福田新幕府の「これが平ぜりふ」「これ承認いた」との発言をめぐり、反対論がつぎつぎに述べられた。この時の議論の中で、〝米騒動〟は、これまでおりまいっさいこれを国会外に、〝騒動〟されず、紅衛兵に王光、北京市内をとろ、北京市内は、いなることは、牛鬼蛇神（反動派）が徹底化されていた。

この度開催の「牛鬼蛇神」とは、中国を修正主義的に見、資本主義の方向に誘惑する、保守派を中心とする、旧勢力、旧思想、旧習慣、旧文化、旧風俗などの考えが、紅衛兵に王光、北京市内をとろ、北京市内は、いなることは、前にものべた——「修正主義を頭とする党中央幹部（反動派）」が徹底化されていた。

彭真北京市長が〝反党、反社会主義〟として、党中央、党内、国家の機構、機関紙「人民日報」、「解放」、「紅旗」、「光明日報」、「中国青年」、「工人日報」、「人民日報」、「文匯報」、「解放軍報」、「北京日報」、「中国青年報」、「光明

高密度に適した交通体系を

土地も、空も限界

〝空間条件〟の差を考えて

日本には日本の道がある

交通評論家 角本良平

図2 ロンドン都心部入込人員（朝 7～10時）

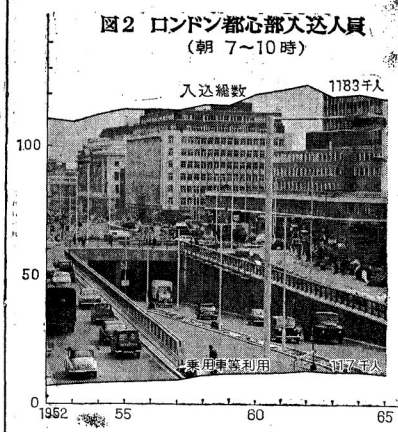
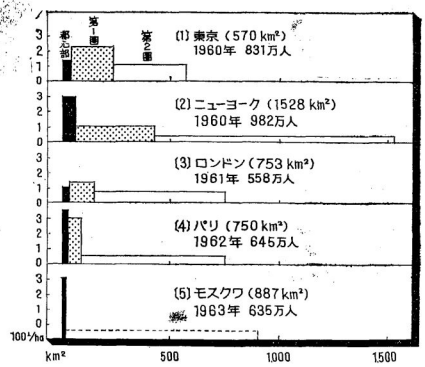


図1 5大都市特定集中地域の人口分布比較



（注） 乗用車等利用には、オートバイ、自転車を含む
1965年では、乗用車99千人、
オートバイ・スクター 13千人、自転車 5千人
合計 117千人

表1 関東地方とオランダ、ベルギー（1965年）

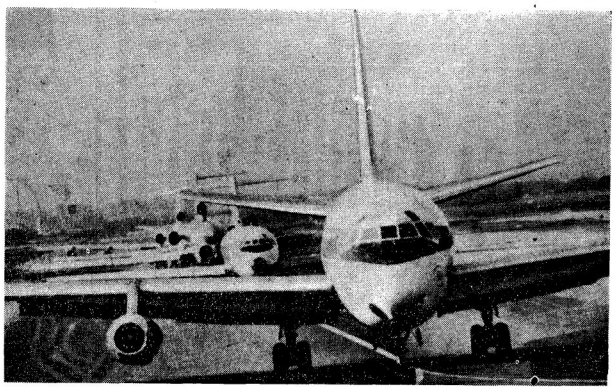
	面積（km²）	人口（千人）	人口密度（人/km²）	自動車台数（千台）
関東地方	32,110	26,201	816	2,040
オランダ	13,945	12,292	366	1,527
ベルギー	30,510	9,464	310	1,573

（注） 関東地方の自動車台数は1966年3月31日現在。都道府県別台数から三輪、二輪車を除いた数。

表2 各国の自動車普及度（1965年）

	自動車台数（千台） 乗用車	トラック・バス	計	国土面積あたり普及度（台/km²）	耕地面積あたり普及度（台/km²）	耕地面積あたり人口（人/km²）
日本	2,181	4,119	6,300	17.0	104	1,622
アメリカ	75,261	15,109	90,370	9.7	49	105
イギリス	9,131	1,827	10,959	44.9	147	734
フランス	8,778	1,910	10,688	19.5	51	235
西ドイツ	9,719	996	10,715	43.4	127	702
オランダ	1,283	244	1,527	44.9	156	1,254

国鉄だけがなぜ「過密ダイヤ」



離着陸待ちの滑走路で地上に勢らず深刻な空の交通ラッシュを呈するニューヨーク空港（WWP）

「先進国」追従型の発想

三チェジャー時代という言葉が判断を誤ることになる。

今日三菱重工のもっとも大きな問題は、東京の三菱ビルの中で、三菱本社のビルとは、ブルー、グレーン（航空機）、大型ジャー（船）、ブルースとしてもが営業するのだという申請書が出ているが、ひょっとすると、昭和50年のわが国には、ブルー、グレーン（航空機）、大型ジャー（船）、ブルース

幼い命をむしばむ

〝恐怖の病い〟小児ぜんそく

退園後、突然の発作

間に合わない治療施設　専門医もいない養護施設

突然、ゼンソクの発作に襲われ死んでいくこどもたちが増えている。昔は吸入器などの薬の病気いえば小児喘息の名前だけだが、いまは、原因不明、死に至る重症ゼンソクに、位の原因をゆすっている。ゼンソクは現代っ子を無関係な激しい病気のひとつといえるが、「メクラが多くなってきたから知の病い」と、専門医さえがなげいるほど、正体不明の病気だ。そんな〝王様のゼンソク〟に対し最近、医学界の〝挑戦〟は、分勢力になれているのだろうか。また、施策の面でも可能な限りの手がうたれているのだろうか。

横浜市に住む小学四年生の A君 に、激しくせきこんだかと思うと、ゼンソクの発作を起こしたのである。顔は苦しさにゆがみ、青白くなってゆき、額には脂汗がにじみ出ていたが、突然、激しくのどをしぼり出すような音がもれてくる。ゼンソクの発作を起こしたのである。同じように、立川市の小学六年生の B君 が、昨年夏、ゼンソクの発作を起こしたのである。

一年ぱかりの間に次々と死んだ。この三人は、横浜市の郊外、静かな高台にある養護施設の子だった。同学園に二年から二年半の療養生活の後、三人とも元気になって、学園を巣立ったのである。

ゼンソクは治ったのでしょうか。なぜ、三人の子供たちは、学園を巣立ってから、ゼンソクの発作を起こしたのか。

この三人は、横浜市の郊外、静かな高台にある養護施設の子だった

『燃える東大』をなげく

東大文学部事務長　尾崎盛光氏

「いまの学生は大学をレストランみたいに考えいますね」と語る尾崎氏

――医学生の処分紛糾問題などを求めて大学内紛騒ぎの因子を探求して学生が安田講堂を占拠しています。

学生諸君は大学は権力であるといいます。私ども大学当局者、国公立だからそう感じ取ってしまうのかもしれません。そんな性格はまったくもってありません。無能に権力とどこをみるのは誤っています。

――しかし私大の場合は機能性ですが。

たしかにそうです。理事会経営がかっちりのは当然であるというわけなんですが、ただ、学生諸君は大学は権力であるといいます。私ども大学当局者、国公立だからそう感じ取ってしまうのかもしれません。

――医学生の処分紛糾問題などを求めて大学内紛騒ぎの因子を探求して学生が安田講堂を占拠しています。

学生諸君は大学は権力であるといいます。私ども大学当局者、国公立だからそう感じ取ってしまうのかもしれません。

――しかし私大の場合は機能性ですが。

たしかにそうです。理事会経営がかっちりしており、教授会とは一線を画しているような学生がいっぱいあります。このような場合には学生たちも組織の間違いがあってもかなりまっすぐ出てくるようなものです